

総合型選抜対策講座④

文教大学国際学部 国際理解学科
(課題遂行型出願向け)

試験当日に向けた対策について

2026年8月22日 (土)

BUNKYO UNIVERSITY



今日の目次

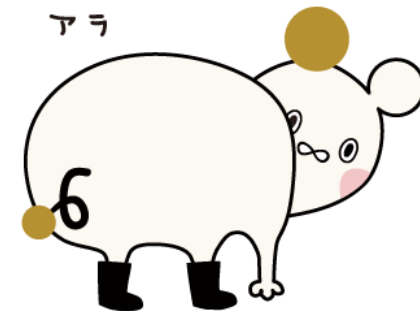
1. はじめに
2. 国際理解学科の課題の確認
3. 試験当日に向けての準備
 - 3-1. プレゼンテーションに入る前に…
 - 3-2. 当日のプレゼンテーションのポイント
 - 3-3. 当日のディスカッションのポイント
 - 3-4. ここまでのまとめ
 - 3-5. 試験前日・当日のチェックリスト
4. さいごに



総合型選抜対策講座のスケジュール

- 6月21日（日）：①課題図書を選び方・読み方について
- 7月26日（日）：②事前課題（感想文）の取り組み方
- 8月9日（日）：③プレゼンテーション資料作成のポイント
- ☑ 8月22日（土）：④試験当日に向けた対策について

これまでに実施された対策講座の資料は国際学部のホームページに掲載しています。こちらも併せて参照してください。



国際理解学科の課題の確認

詳細については、必ず2027年度『文教大学入学試験要項(総合型選抜)』
を確認してください。



○課題の内容

(1) 以下の3つの課題図書の中から選んだ本を読み、2000字程度のレポートを書いてください (**1期**)。

a) 本田由紀『「日本」ってどんな国？国際比較データで社会が見えてくる』
(筑摩書房、2021年) [ちくまプリマー新書]

b) 平賀緑『食べものから学ぶ世界史——人も自然も壊さない経済とは？』
(岩波書店、2021年) [岩波ジュニア新書]

c) 久保田竜子『英語教育幻想』
(筑摩書房、2018年) [ちくま新書]



2. 国際理解学科の課題の確認

○課題の内容

(1) 以下の3つの課題図書の中から選んだ本を読み、2000字程度のレポートを書いてください（**2期**）。

d) 上野千鶴子『女の子はどう生きるか—教えて上野先生！』

（岩波書店、2021年） [岩波ジュニア新書]

e) 安田菜津紀『隣人のあなた—「移民社会」日本でいま起きていること』

（岩波書店、2022年） [岩波ブックレット]

f) 鳥飼玖美子『異文化コミュニケーション学』

（岩波書店、2021年） [岩波新書]



○課題の内容（続き）

※各課題図書の概要については、第1回の総合型選抜対策講座の資料も参照してください（国際学部HPに掲載しています）。

※課題図書は、書店などから購入するか、図書館から借りて読むなど、各自で入手してください（じっくり読み込むことや線を引くことなどを考えると、できるだけ購入することをお勧めします）。



○課題の内容（続き）

(2) その上で、読んだ本のテーマに関連する、もしくはそのテーマを発展させた、わたしたちが現在直面している問題（※）を具体的に取り上げたプレゼンテーション資料（※※）をつくり、それをもとに試験当日発表をしてください。

（※）例えば日本社会が抱えている問題、世界各国が共通して直面している問題など

（※※）パワーポイント、ポスターなど

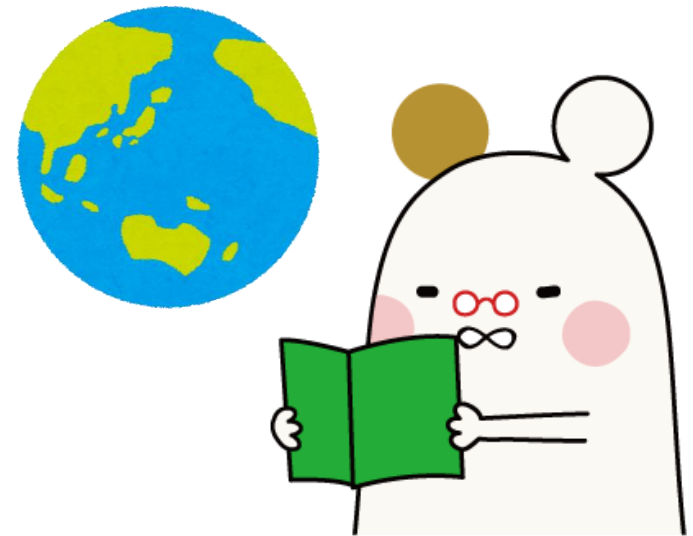


○取り組むべき事前課題まとめ

- (1) 課題図書の一つ選んだ上で、2000字程度のレポートを作成（提出期限までに送付）。
- (2) 選んだ課題図書のテーマに関連する、あるいはそれを発展させたプレゼンテーション資料の作成（試験当日持参）。



* 試験当日に向けた準備



* プレゼンテーションに入る前に…
(前回のおさらい)



✓ プレゼンテーションに入る前に…

- ・当日のプレゼンテーションの成否は、実は事前準備で8割方決まります。本番になって突然うまくいく、ということは基本的にはないと考えておいてください。
- ・従って、事前の準備（プレゼンテーション資料の作成や発表の予行練習）を何よりも入念に行っておく必要があります。



- ✓ プレゼンテーションに入る前に…（資料作成についておさらい）

①構成を必ず最初に作る！

学術的な文章を書いたり、発表資料を作成する際に必ずやらなければならないのが、**事前の構成作り**です。

→構成（発表の流れ、ストーリー）がなかったり、整理されていない発表は聞いている側にはとても理解し辛いです。発表の目次を明記したページを作るなど、発表の構成が一目でわかるような工夫があると良いと思います。



✓ プレゼンテーションに入る前に…（資料作成についておさらい）

②発表の構成、流れを把握した上で、必ず予行演習を！

発表時間は7分程度なので、必ず事前に時間を測って予行演習繰り返すようにしましょう。

→「発表の構成」が効果的に示せるな時間配分を考えるようにしましょう。時間超過は絶対に避ける！

→事前練習をすることで、どの部分で喋りすぎているのか、反対に、どの部分の情報が足りないかが見えてきます。



- ✓ プレゼンテーションに入る前に…（資料作成についておさらい）

③事前課題（レポート）との整合性を意識しましょう！

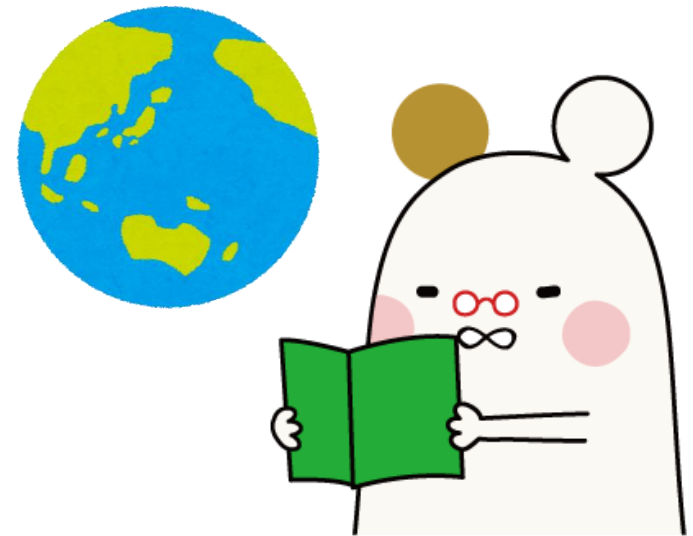
プレゼンテーション課題は、事前課題の内容を踏まえたものでなければなりません。

→課題図書の内容、さらには課題図書について自分が提出したレポートの内容と、プレゼンテーションの内容がきちんとつながっているかどうかは非常に重要なポイントです。

→プレゼンテーション資料作成の際は、課題図書はもちろん、自分が提出したレポートの内容もよく見直しましょう。



* 当日のプレゼンテーションのポイント



✓ 当日のプレゼンテーションについて

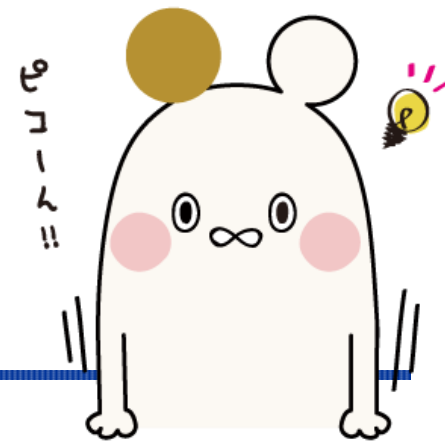
- ・当日はまず、当日持参してもらうプレゼンテーション資料に基づいて、7分程度で発表をしてもらいます。

→資料がうまくできているかも大事ですが、**当日のプレゼンテーションでは、皆さんの声や身振り手振りといった資料以外の点も大事になります。**聞いている相手（面接官だけでなく、他の受験生も含みます）は生身の人間である、ということを忘れないようにしましょう。



✓ 当日のプレゼンテーションについて

- ・ 総合型選抜（課題遂行型）では、決して簡単ではない課題に対して皆さんがどのように取り組み、どれくらいしっかり思考したかが問われています（「唯一の正解」を求めるものではありません）。
- ・ 従って、流暢に発表することが、そのまま高い評価につながるわけではなく、課題に懸命に取り組んだ努力の結果として現われる「中身」を面接官は見ます。普段の「素」の自分が出せばよし、と考えて 平常心で発表に臨みましょう。
- ・ ミスしても気にせず、あせらないでください。
例えば、発表内容を忘れてしまっても、落ち着いてやり直せば大丈夫です。



✓ 具体的なポイント

① 情報量を多くしすぎない

プレゼンテーション資料作成の際にも書きましたが、**情報量の多すぎるプレゼンテーション**は聞いている側に理解してもらえません。特に、一生懸命調べた人ほど「あれも言いたい！これと言わなきゃ！」となり、話しすぎてしまいがちです。

→ **耳だけで聞いていても理解できるくらいの情報量を目指して、情報量の「引き算」を意識しましょう。**

ただし、「引き算」しすぎて内容がスカスカにならないようにバランスには注意してください！



✓ 具体的なポイント

②音読マシンにならない

用意した発表の内容をただ音読するような「音読マシン」にならないよう注意しましょう。

→音読マシンになると、ただでさえ通常話す時よりも早口になります。また、ほとんどの場合、当日は緊張して「一刻も早く終わりたい！」と焦ってしまい、さらに早口になってしまうことが多いです。話す速度が早いと、聞いている側の理解が追いつかなくなって折角の発表内容が十分に伝わりません。

→少しゆっくり目に話して、それでも時間に余裕がある、というくらいでちょうど良い。



✓ 具体的なポイント

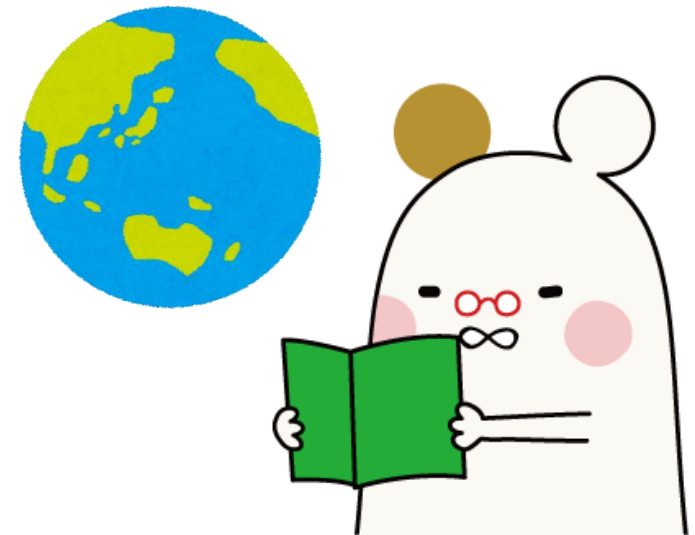
③資料等に頼りすぎない

②の注意点とも関連しますが、事前に用意してきた（暗記してきた）内容をそのまま吐き出そうとするような発表や、プレゼンテーション資料を読み上げるような発表は、とても不自然に聞こえてしまうことが多いです。

→何度も練習を重ねて、**資料等を見なくても、当日の発表の構成だけを見て、話す内容が再現できるようにしておく**と良いでしょう。面接官や周りの受験生の様子を見渡せるくらいに練習を積み重ねておけるといいですね！



* 当日のディスカッションのポイント



✓ 当日のディスカッションについて

ディスカッションは10分程度の時間で、それぞれの受験生が発表した内容に関して面接官の質問に答えたり、他の受験生と議論をします。

✓ 具体的なポイント

① 話を発展させられたかどうかが大事

ディスカッションとは、他の人との対話を通して、より深く考えたり、自分とは異なる考え方を発見したりして、勉強をより深めるための作業です。



→従って、最も重要なのは、議論の発展に貢献できたかどうかです。議論には積極的に参加してほしいですが、相手を「論破」したり、やっつけたりすることが目的ではありません！

✓ 具体的なポイント

② 議論を発展させるためにはまず相手の話をよく聞こう

ディスカッションの流れを事前に予測することは不可能です。流れが読めないと不安になって、流れを無視してついつい自分の話ばかりをしたくなってしまうますが、むしろディスカッションで重要なのは、他の人が言っていることをよく聞いて、議論の流れをしっかりと観察することです。

→相手の言っていることをまずはよく聞き、適宜メモなどもとりながら理解するよう努めましょう。また、相手の言っていることの中に分からない点があれば、その点について簡潔に質問してみても良いでしょう。



* プレゼンテーションについて

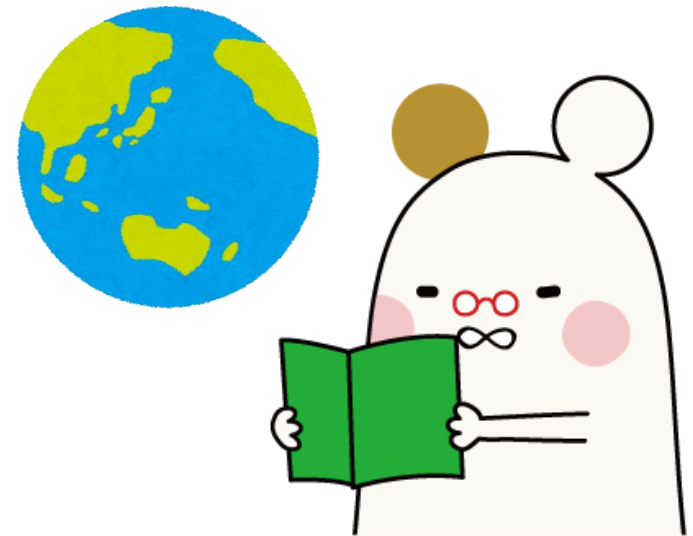
- ①情報量に注意し、耳だけで聞いても理解できるような発表を心がける
- ②話す速さに注意し、「音読マシン」にならないようにする
- ③資料に頼りすぎず、話す内容が発表の構成だけからでも再現できるように入念に準備しておく

* ディスカッションについて

- ①ディスカッションでは、対話を通して理解を深め、話を発展させることが大切だということを忘れずに
- ②自分の話ばかりせず、相手の話をよく聞いて理解するように努める



* 試験前日・当日のチェックリスト



- ☑ 総合型選抜の入学試験要項を再確認しましょう。
- ☑ 発表用データ（USB等に入れて）やポスターなどの発表用資料、配付用資料（7部）、提出用プレゼンテーション資料（1部）を忘れないように！
- ☑ 筆記用具、ノート等を持参しましょう。
- ☑ 試験時間中はスマホや携帯を使えません。必ず時計を持参してください。
- ☑ 時間に余裕を持って自宅や宿泊先を出ましょう（当日は気をつけて東京あだちキャンパスにお越しください）。





国際学部の入試に
関するご質問

総合型選抜についてわからない点がある場合は、

kokusai-sogo@bunkyo.ac.jp

までご相談ください。

- * お問い合わせの際には、「**志望学科**」「**氏名**」「**高校名**」を**必ず明記**してください。
- * 回答はメールを送信していただいたアドレスに返信しますので、受信制限などを解除して、文教大学からのメールを受信できるようにしておいてください。



文教大学のホームページだけではなく

国際学部ホームページ

QRコード →



もぜひ見てください。

トップページ右上の「国際学部を受験する皆さんへ」のボタンをクリック
→「国際学部入試情報」のページへ

- ・ 受験生からよくある質問に答えた（Q&A）があります。
- ・ 課題遂行型対策講座の資料も同ページに掲載しています。

